

1. 年頭にあって



2025 年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2015 年に国連総会で SDGs (Sustainable Development Goals) が採択されて 10 年を迎えます。SDGs は、持続可能なよりよい世界のための 17 の開発目標で、建築物の維持管理に関わる業界にとっても、非常に重要な考え方です。スクラップアンドビルドによる発展も大事ですが、それだけではなく、メンテナンスしながら長く使っていくことも大事であり、特に建築物の場合には、非常に長期間にわたって使用するものなので、維持管理の重要性はこれからますます高まっていくのではないかと思います。

しかし、大手ゼネコン・サブコンは新築で忙しく、改修や維持管理まで手が回らないという状況も耳に入ってきます。また、人手不足や人件費の値上がり、労働者の高齢化などの問題もあり、比較的小規模な会社が多い我々の業界も、経営環境としては楽観できる状況ではありません。

しかし、このような情勢の中であっても、本来やるべきことをしっかり続けていくことが業界団体の役割であり、日本空調システムクリーニング協会としては、「空調設備を清浄にすることで、室内空気環境の向上に寄与する」という本分を忘れずに、協会運営に取り組み、そのことによって、市場の発展、会員企業の発展、協会の発展を目指して参ります。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

日本空調システムクリーニング協会会長 清水 晋

2. 活動報告 2024 年 10 月～12 月

日時	内容	会場
10 月 4 日 (金)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
10 月 10 日 (木)	ダクト清掃作業従事者研修 2 回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
10 月 17・18 日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
10 月 23 日 (水)	定時理事会	新橋第一ビル会議室
11 月 3 日(金)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン開催(ZOOM)
11 月 25 日 (月)	青年部研修会・懇親会	新橋第一ビル会議室

12 月 11 日（水）	環境経営委員会	JADCA 新橋事務所
--------------	---------	-------------

3. 活動予定 2025 年 1 月～3 月

日時	内容	会場
1 月 23・24 日（木金）	第 51 回建築物環境衛生管理 全国大会 末光副会長表彰	日本教育会館一ツ橋ホール
1 月 17 日（金）	定時理事会	浅草文化観光センター
1 月 17 日（金）	厨房委員会	浅草文化観光センター
1 月 30 日（木）	ダクト清掃作業従事者研修 1 年目コース	オンライン開催(ZOOM)
2 月 10 日（金）	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
2 月 13 日（水）	臨時社員総会	アートホテル日暮里 ラングウッド
2 月 20 日（水）	ダクト清掃作業従事者研修 2 回目以降コース	オンライン開催(ZOOM)
2 月 27・28 日（木金）	空調システム設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
3 月 11 日（火）	評価認定委員会	JADCA 新橋事務所
3 月 13・14 日（木金）	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)

4. 研修・講習のご案内

作業従事者向け

ダクト清掃作業従事者研修

第 3 号事業登録要件の一つに「年一回以上全作業員が研修を受けること」は、社内研修でもよいということになっておりますが、JADCA では、本研修を受けたものが社内研修の講師となるべきとの観点から、JADCA 認定の技術評価制度において、本研修の受講者が毎年いなければ減点対象としています。技術評価認定の会員企業はこの点もご留意下さい。

日程	内容	時間
1 月 30 日（木）	ダクト清掃作業従事者研修 1 年目コース	オンライン開催(ZOOM)
2 月 20 日（木）	ダクト清掃作業従事者研修 2 回目以降コース	



会員企業 200 社 診断士 1000 名 達成プラン

JADCA 会員企業限定！2024 年度プラン

会員増強プラン・・・会員企業 紹介制度

- ・ 1 社紹介した会員企業には協力金として **10,000 円の商品券**を提供します。

※入会時に紹介会員企業へ商品券の提供

診断士増強プラン・・・会員企業 特別受講制度

- ・ 正会員企業の方は年間で各養成研修厨房診断士 1 名、空調診断士 1 名の受講料を**無料**にします！！

※2024 年度各診断士研修 2 回目のご案内

日時	内容	会場
2 月 27・28 日(木金)	空調システム設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)
3 月 13・14 日(木金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン開催(ZOOM)

5. 支部・青年部活動のご報告



東西関東支部合同ゴルフコンペ

11 月 19 日あさひが丘カントリークラブ

優勝 (株)ケディック福田様



西関東支部合同ボーリング大会

10 月 7 日 東京ドームボーリングセンター

優勝 赤門ウイレックス(株)小林様





近畿中四国支部 懇親会

10月11日 大阪梅田飲食店にて

新会員を迎えての交流会

青年部勉強会

11月25日 新橋駅前ビル

会員企業若手社員に向け JADCA についての勉強会開催



6. 支部長 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。コロナ、インフルに対応しつつ、材料費、燃料費、外注費等物価高、円安、採用難と採用活動コスト上昇が本格化した昨年を経た今「本業を健全に見通し良く保つこと」の重要性がより明確化したと感じます。一方価格交渉がし易い環境変化を初めて実感し、設備保守専門業の価値が認識されつつある事も示しており、説明と交渉は抜けなく継続すべきです。また社員年齢上昇に比例し手厚い健康ケアの必要性も増しています。業務スキルと環境改善は継続的に取り組まねばなりません、改良実現は業務や環境の差別化も意味します。気を引き締めつつ期待を持ち 2025 年を取り組みたいと思います。

北海道支部 支部長 今井昭彦



2025 年、新年明けましておめでとうございます。

昨年の東北地方の経済動向は、緩やかに持ち直してきているとはいえ、原材料や原油などの物価高騰による消費行動や設備投資は抑え気味となり、ダクト清掃案件もそれほど増えたとは言えない年だったのではないのでしょうか。そんな中で JADCA は少しずつですが会員企業や資格取得者も増え、東北支部にも会員企業が一社増えた事は明るいニュースのひとつでした。今年は支部の皆様同士で情報交換を行い、横の連携を強めて行きたいと思っております。

東北支部 支部長 大庭孝仁



JADCA 会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。昨年は東京消防庁の委託研究で「火気器具上部に設置される排気ダクトの火災抑制方策に関する調査研究」を東京理科大学の倉淵先生・松山先生等のご指導を踏まえ火災実験を行いました。その成果は東京消防庁として令和元年度及び今年度の検討部会の検討結果を踏まえ、全国消防長の予防委員会に上引きダクトの条例(例)化を提言、総務省消防庁に対し、対象火気省令及び条例策定を要望していくとされています。JADCA 会員の皆様に、火災実験の内容提言報告書などをご紹介しますと思います。

東関東支部 支部長 末光眞二



皆様 明けましておめでとうございます。
新体制で迎える 2 回目の新年です。昨年は、若手社員向けの懇親会や勉強会なども開催し、会員相互のコミュニケーションの活性化を図って参りました。支部の活動目的の一つである、会員企業の交流の促進という視点を忘れずに進めて参ります。本年も引き続きよろしくお願いいたします。

西関東支部 支部長 清水晋



新年あけましておめでとうございます。
今年は「ヘビ」のようにしなやかに、時にはスリと難題をすり抜け、しっかりと目標にかみついて離さない一年にしたいと思います。JADCA の会員の皆さんとともに、脱皮するように成長し、協会としてさらなる高みを目指していきたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

北陸東海支部 支部長 山田晃也



新年あけましておめでとうございます。
2024 年は自然災害から始まり温暖化の影響で猛暑、酷暑が続きいよいよ地球環境の暴走を感じた年になったと思われます。我々は作業を生業としておりますので働き方改革に続き、さらなる対策を講じなければならない時代に突入致しました。さて、昨年は近畿中四国支部にて懇親会を大阪にて開催をさせて頂き 12 社、計 25 名のご参加を頂き大盛況となりました。これを弾みに、情報を共有し人手不足の対策含めこのご縁を一層深めていきたいと考えておりますのでよろしくお願い致します。補足ですがここ大阪は梅田駅周辺の再開発もほぼ完了し、大阪・関西万博が 4 月より 10 月までの 184 日開催されます。また機会あればお出ください。

近畿中四国支部 支部長 木下浩之



新年あけましておめでとうございます。
昨年来 JADCA は新たな会員制度をはじめ、さまざまな取り組みや、いろいろな角度から JADCA を大きく、強くする試みに取り組んでいます。
支部内においても改めて「会員であることの意味」に目を向け、「木も見て、森も見て」活性化が図れる場となる様、動きたく思います。
何卒ご協力賜ります様、本年もどうぞ宜しくお願い致します。

九州支部 支部長 佐々木良信

AI の世と空調屋の夢



ギリシャ神話によれば人類はプロメテウスから火をもらうこととなっていますが、人類は火を手に入れて以来暖をとることが出来氷河期を生き延びることが出来ました。したがって暖房は太古から存在したといえます。これに対し明治初頭の冷凍機の発明、それに伴う製氷技術により、初めて冷たいものを手に入れることになります。それまでは氷室に蓄えた氷をほんの一握りの特権階級の人のみが、それを手にしたのでした。製氷が確立するとこれを用いて空気を冷やすことが出来、冷房が可能となりました。明治の後半になり空気を冷やすとともに湿度も制御する技術として装置露点温度が見つけられ、やっと空気調和の技術基盤が確立しました。

その後いろいろな空調方式が採用されてきましたが、革命的な変革は実現しないまま今日に至っています。今日 AI 技術の進歩に伴い、いろいろな分野でのブレークスルーが期待されており、空調の世界でもその変革が訪れるものと推察できます。私のような古い技術者にその世界を見通すのは難しいのですが、一つだけ思いつくとすれば固定された装置による技術から自由に移動する装置への移行が考えられます。

自由に移動する装置には、私の昔の同僚の発想があります。彼の発想は室内に浮かべた装置があちこち移動し、熱だまりを見つけたら口を開けてパクパクと食べて処理するというものでした。その当時は面白い発想だが具体化するのには難しいかなと思っていましたが、最近の AI とドローン技術の進歩を見るとひょっとして可能なのではないかと思うようになりました。例えば蓄電池で室内に浮かび稼働可能な超小型の飛行船型ドローンに空調機を載せ、装置に室内空気を取り込み、その温度、湿度、清浄度などを各種センサで計測し適切に処理するような飛行船ロボのコンセプトです。これに加え室内の床面を自由に移動できる超小型のロボット空調機も考えられます。これはお掃除ロボの応用です。この小型の空調ロボットを一人一台相棒としてどこに行くにも伴い、上述した飛行船ロボと同様に取り入れ空気を計測し処理し相棒に提供するという空調ロボのコンセプトです。さらに血圧や脈拍などの情報を処理しストレスフリーの空調の実現を図ることも期待できます。



飛行船ロボにしろ、空調ロボにしろ、当初は従来の部屋全体の空調と組み合わせ用いられると考えられ、全体空調は外気の供給と緩和された温湿度条件で設計し極力規模は圧縮されると思います。ここで両ロボの技術上の難題は加熱冷却用の媒体になります。例えば熱水を貯蔵する熱水タンクと冷却したブラインを貯蔵するブラインタンクを積み込むというものです。装置の小型化を図る場合、蓄熱をすぐに使い終わるという欠点があり、頻繁に熱媒を交換しなければならないという問題があります。これにはお掃除ロボのように、装置自体が移動して充電と熱媒入れ替えの出来るステーションを設けて対応することで解決できるかもしれません。チャージ中は他のお助けロボが代替することになります。

若い技術者諸君、もっと斬新な発想で AI を用いた空調について挑戦してください。 完

JADCA 技術顧問 石田清治

事務局からのご連絡

JADCA 臨時社員総会の予告

2025 年 2 月 13 日(木)

アートホテル日暮里ラングウッド

14 : 30～16 : 30 臨時社員総会

17 : 00～18 : 30 賀詞交歓会

詳細についてはメールにてご案内いたします。

皆様のご参加をお待ちしております。

海外視察研修旅行(マレーシア)のご案内

2025 年 11 月 15 日(土)～18 日(火)

マレーシア

クアラルンプール・マラッカ

会員企業 HALTON マレーシア工場見学

厨房関連施設視察等

詳細は臨時社員総会にてご案内致します。

事務局 etcetera (エトセトラ)

～ スポーツの秋 ～

小学校3年生からサッカー、4年生からは野球と、小学生ながら二刀流で土日になると午前中は野球の試合、午後はサッカーの試合と今よりも多忙な日々を過ごしておりました。

中学からは野球一本に絞り、リトルシニアで家族を巻き込み野球漬け、高校も野球で進学しましたが、あまりの野球漬けに怪我と体調不良で野球嫌いになり途中でリタイア、、、

大学ではサッカーを楽しもうとサークルで4年間サッカー漬け。

身体を動かしていないと気が済まないようで、未だにスポーツを楽しんでいます。

野球は草野球のお誘いを受け、稀に楽しむこともあります、もはや守備でボールが飛んでくると怖くて仕方ありません。

サッカーは11月にサークルOBで50人程が集まり、みんなでフットサルをエンジョイ。

様々な世代が集まり楽しみましたが、世代問わず、普段から身体を動かしている人と動かしていない人で動きのキレの違いが顕著に表れておりました。

私は今年の夏から地元の社会人サッカーチームに所属して、月2回程度の試合と、休みの日は朝7時～9時に地元の数チームが集まり合同で朝練を行っております。

朝練に参加する世代で下は20代(10代が参加すること)、上は50代や60代、最年長はなんと72歳!! 胸でボールを受けるだけで心臓が止まらないかといじられながらもパスを繋ぎ皆と汗を流しております。

少し前まで、身体を動かす機会が減り、たまにフットサルをやるとすぐに息が切れて、もうフットサルもサッカーも無理だなと思っておりましたが、朝練に参加して、皆が汗を流し、楽しそうにプレーする先輩方をみてからは、私もいつまでも走り続けようと思えるようになりました。

社会人サッカーを始めた頃は、平日の仕事は筋肉痛で怠いのかな、疲れるな、と思うこともありましたが、いまでは身体を動かさないとどうも落ち着かないくらい充実しております。

この秋は、ゴルフも社内コンペやJADCAコンペでも楽しませてもらい、合計5ラウンドほど楽しみました。

ゴルフも1ラウンドでだいたい1万歩前後歩きますので、とても健康にいいですね。

いまいち上達しませんが、ゴルフも一生継続していきたいスポーツです。

運動不足の方は健康の為にスポーツおすすめです。心身ともにフレッシュになりますよ!



息子と共にフットサル



社内コンペ @軽井沢 72

written 土谷弘太郎 (所属会社: 有限会社シンライズコーポレーション)

編集後記

新年おめでとうございます。

2025 年の幕開けとなり、JADCA も新たな一步を踏み出し業界の活性化を進めて行く所存であります。

先ずは、2 月 13 日（木）に JADCA 臨時社員総会が開催されます。多くの会員企業の皆様と顔を合わせられる機会となりますので、是非、足をお運び頂ければと思っております。

本年も、有益な情報の発信や更なるチャレンジを進めて参りますので、会員企業の皆様におかれましては、協会に対しご理解とご協力を引き続きお願い申し上げます。

2025 年も、どうぞよろしくお願いいたします。



JADCA 事務局

〒105-0004 東京都港区新橋一丁目 12-9

新橋プレイス 7 階 ビジネスエアポート内

TEL : 03-6274 - 6064 FAX : 03-6274 - 6065

E-mail : info@jadca.jp URL : <http://www.jadca.jp/>